

たが

2017年2月(第152号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



みなさまの安全を願って(消防出初式1月8日)

- 補正予算を審査 2
- 委員会審査 6
- 12月定例議会 4
- 町政を問う(一般質問) 9
- 町長の行政報告 5
- たが いいところ再発見!! 16

予算特別委員会

12/12

28年度補正予算(一般会計)を審査しました

おもな内訳

	(万円)
小学校照明耐震化工事	7400
胡宮神社社務所工事補償費	230
小中学校設備改修(3件)	244
草の根ハウス補助	100
庁舎ノートパソコン買替え	275
コミュニティバス補助	175
マイナンバー整備	150
工業団地調整池改修	486
環境保全型農業交付金	323
パイプハウス補助金	50
林道補修工事	59
地籍調査	686
町道樹木伐採	50
絵馬通り改修工事	5550
道路、橋梁工事減額	6064
庁舎防火設備	110
消防機材ほか	36
障がい者自立支援	1200
児童手当給付(追加分)	105
生活しづらさ調査	4
議会防災備品購入	23

問 小学校照明耐震化工事の内容は、老朽化対策は。

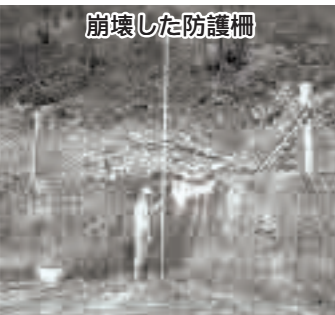
答 両小学校体育館の照明器具等を固定し、LED化もする。建物の老朽化への対策は、必要と認識しており、今後検討していく。

問 ノートパソコンの買替え時期と、処理は。

答 5、6年で買替えが必要となる。再利用できるものは、他の課で利用する。廃棄するものは、データが残らないようハードディスクを破壊して処分する。

問 びわ湖東部工業団地調整池の改修は。

答 水質汚濁防止用のシルトフェンス(水中に設置するカーテン状の仕切り)を改修する。古くなった2本を更新する。耐用年数は15年である。



崩壊した防護柵

問 林道権現谷線で落石があった。防護柵を補修する。

答 林道の補修工事は



路線バス

問 コミュニティバスの実績は

答 町内の3路線で3824万円の赤字。



庁舎の誘導灯

問 町道樹木伐採の内容は

答 町道四津屋胡宮線の景観整備。



四津屋胡宮線

問 道路、橋梁工事の減額による影響は

答 道路、橋梁工事に影響はない。



南後谷集落内

問 生活のしづらさ調査の内容は

答 県の指定を受けた事業で、今回は南後谷が対象となる。



仏ヶ後橋

教育、防災、環境、土木、福祉への対策に

補正予算

1億2778万円を追加



農業支援

373万円



庁舎ノートパソコン

275万円



(耐震化後の中学校体育館)

両小学校照明耐震化工事

7400万円



林道補修
絵馬通り改修など
5659万円



工業団地調整池改修

486万円

条例改正と 補正予算

臨時議会

11/25

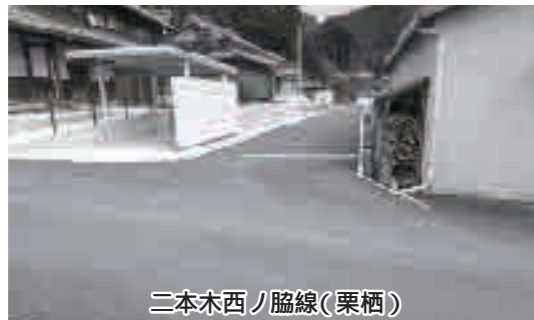
人事院勧告による
職員の給与改正

条例改正

- ・多賀町職員の給与に関する条例
- ・多賀町特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例

28年度補正予算

- ・一般会計 606万円増
- ・国民健康保険特別会計 90万円減
- ・介護保険事業特別会計 43万円増
- ・後期高齢者医療事業特別会計 6万円増
- ・農業集落排水事業特別会計 3万円増



二本木西ノ脇線(栗栖)

請負契約の変更

- 町道二本木西ノ脇線道路新設工事
- 金額 540万円増
- 総額 4968万円
- 請負者 丸橋建設(株)

税条例が改正されました

- ・法人・個人住民税
- ・延滞金計算の期間の見直し。
- ・利子および配当に係る個人住民税の課税特例の創設。

たばこ税

- ・旧3級品紙巻たばこ(わかば・エコーなど)の特例税率を引き上げる。

国民健康保険条例が改正されました

- ・国民健康保険条例が改正されました
- ・国民健康保険の算定等に特例適用配当等を加える。
- ・特例適用配当とは国内居住者の外国における配当などの所得

農業委員会条例改正

- ・農業委員・農地利用最適化推進委員の定数と選出方法が改正されました。
- ・農業委員(現)16人が14人に。
- ・公募制で町長が任命の同意
- ・推進委員 6人
- ・公募制で農業委員会から委嘱。

請願1件を採択しました

- ・原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願
- ・国と福島県に対し、意見書を提出しました。

町長の行政報告

12/6

企画課所管

- ・中央公民館建設事業は財源確保のため国へ要望活動をした。
- ・若者定住支援事業は、来年度も制度を継続。
- ・大滝里づくりプロジェクトでの空き家モデル改修と入居者の募集。

- ・産業環境課所管
- ・「びわ湖環境ビジネスメッセ」へ出展し、町産木材のPRを行った。



多賀町の出展ブース

町産米を食味分析鑑定コンクール国際大会へ出品した。

- ・「光とアート」で発信するブランディング事業は多賀大社・胡宮神社・大滝神社・高源寺でライトアップを約300人の協力を得て行った。



大滝神社のライトアップ

地域整備課所管

- ・絵馬通り線の改良工事の第一工区は9月完了。第二工区は年内完成を目指す。
- ・第三工区に着手予定。
- ・芹谷栗栖地域振興事業は上水谷区の多目的広場の整備が完了。栗栖

福祉保健課所管

- ・地区の町道二本木西ノ脇線工事は11月に完了。地籍調査は水谷と河内で実施中、今後は、久徳と梨ノ木に着手する。
- ・27年度特定健診受診率が確定し、1356人中762人で56.2%となり、受診率向上に取り組む。

教育委員会所管

- ・中学生対象の「土曜講座」、多賀小図書室の古い本の「お分け会」、大滝小の「大滝小まつり」、たきのみや保育園の「英語で遊ぼう」など、学校・園で特色ある教育に取り組む。
- ・兄弟都市の鹿児島県日置市「妙円寺詣り行事大会」へ多賀剣道入部17少年団、大滝柔道スポーツ少年団を派遣。
- ・健康づくり事業では「犬上ふるさとウォーク」に160人が参加。

高齢化に伴い 財政に負担

12月定例議会

12/6

12/21

補正予算を可決しました

区分	金額(万円)	主な内容
一般会計の補正予算	1億2773	小学校施設整備費など
特別会計	国民健康保険	療養費、高額医療費の増加
	介護保険事業	多機能型施設等給付費
	芹谷栗栖地域振興事業	一般会計繰出金など

税条例が改正されました

- ・法人・個人住民税
- ・延滞金計算の期間の見直し。
- ・利子および配当に係る個人住民税の課税特例の創設。

たばこ税

- ・旧3級品紙巻たばこ(わかば・エコーなど)の特例税率を引き上げる。

国民健康保険条例が改正されました

- ・国民健康保険の算定等に特例適用配当等を加える。
- ・特例適用配当とは国内居住者の外国における配当などの所得

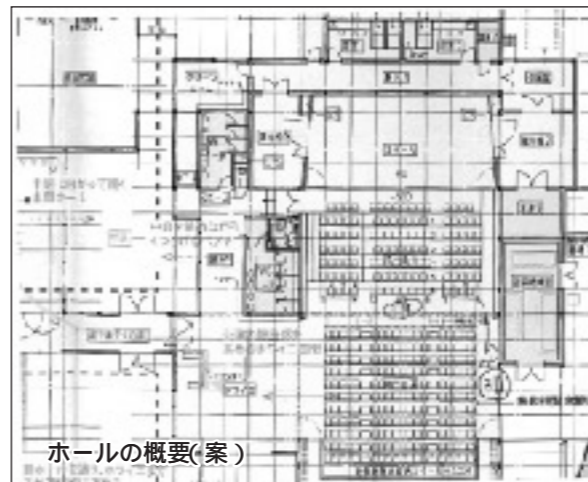
農業委員会条例改正

- ・農業委員・農地利用最適化推進委員の定数と選出方法が改正されました。
- ・農業委員(現)16人が14人に。
- ・公募制で町長が任命の同意
- ・推進委員 6人
- ・公募制で農業委員会から委嘱。

請願1件を採択しました

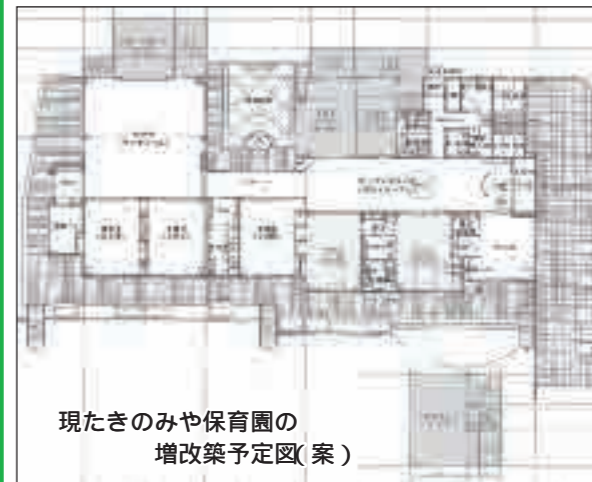
- ・原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願
- ・国と福島県に対し、意見書を提出しました。

新中央公民館の進捗は



ホールの概要(案)

認定こども園の計画は



現たきのみや保育園の増改築予定図(案)

高齢化対策の充実を



管理栄養士による
特定健診時の栄養指導

補正予算2件 請願1件を審査しました

28年度の補正予算
(特別会計)

介護保険事業
3927万円増

国民健康保険
9428万円増

問 医療費増加の要因は

答 医療技術の高度化、加入者の高齢化、生活習慣病の増加。

問 医療費削減に向けた取り組みは

答 データヘルス計画の中で分析し、対策を検討する。特定健診の受診率向上にも努める。

問 特定健診の受診率は

答 56・2%である。若い世代と、男性の受診率向上が課題である。

問 受診率向上への取り組みは

答 未受診者への電話や訪問。

受診勧奨に努める。

問 予算の追加理由は

答 小規模多機能型サ―ビス、認知症対応型サ―ビスを受ける方の増加。

問 介護予防の住宅改修への補助は

答 手すりの取り付けや段差の解消に補助する。限度額20万円。

請願を審査しました

原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願

趣旨
・全国で14万人が避難生活(滋賀県内には155人が避難)審査結果
採択すべき

日置市(鹿児島県)を訪問し、所管事務について調査しました



日置市の計画と被災地支援の報告

減災対策

- ・自主防災組織率83%。
- ・川内原発の災害を想定した避難訓練。
- ・備蓄倉庫の整備。
- ・防災意識の啓発。

高齢化への対策

- ・日置市の高齢化率は、32%。介護給付費が増加。給付費の抑制が課題。
- ・介護予防事業
- ・高齢者の筋力アップ
- ・「筋ちゃん広場」
- ・ささえあいの場
- ・「いきいきサロン」

防災・減災対策

被災地への支援

- ・熊本県内の被災地に対し、人的・物的支援を実施。
- ・ペットボトル飲料水、アルファ米、給水袋を支援。
- ・避難所運営、り災証明発行事務、宅地危険度調査など。

医療費増加の原因

- ・新薬の普及。
- ・高度医療の利用増。
- ・医療費削減への取り組み
- ・自治会の協力で特定健診の受診促進を実現。
- ・受診率は、68・1%になった。

教育・子育て

合併後の学校再編

- ・あり方検討委員会の提言 基本方針 再編計画 準備委員会の発足。
- ・地元説明会、意見交換会を開催。議会で条例改正。30年から再編後の小学校がスタートする。
- ・幼児教育ニース
- ・公立幼稚園には、長時間の預かり保育、3歳児保育、バスの送迎などの要望がある。



合同常任委員研修

産業建設常任委員会

農業委員会法条例改正

農業委員 14人公募制 町長任命

新農地利用最適化推進委員 6人公募制 (農業委員会から委嘱)

この条例は国の「農業委員会法」の改正に伴う改正であり、今後の農業のあり方に関係することから委員会で審査することにした。町長、副町長、産業環境課課長の出席を求め審議し、全員の賛成で可決すべきものとした。



農地を最大限に活かして

問 推進委員の仕事は

答 担い手への農地利用の集積・集約化。耕作放棄地の発生防止、解消。新規就農者、参入企業の支援など。

問 任期は何年か

答 3年である。

問 公募制であるが誰でも応募出来るのか

答 出来るが、過半を認定農業者。その他女性・青年の登用、及び、農業者以外の中立的で公正な判断が出来る人を入れなければならない。

主な質疑

問 農業委員の仕事は

答 農地の賃貸、売買の許可。遊休農地に対する措置。農地転用の許可への意見。

問 農産物の6次産業化

答 ・オリーブによる6次産業化は24年度から鹿児島銀行、25年には野村證券グループと業務協定を結び、生産は「日置市」加工、販売は「鹿児島銀行」「野村證券グループ」が担当する。

・28年には薬剤メーカー「エイザイ」と協定、成分調査などをして、29年度「日置市産」オリーブの販売を計画されている。

・27年度地方創生加速化交付金5800万円で、さらなる進捗を目指されている。

感想 「多賀にんじん」「多賀そば」も大手との連携も必要と感じた。

農林業政策

農産物の6次産業化

- ・「オリーブによる6次産業化」は24年度から鹿児島銀行、25年には野村證券グループと業務協定を結び、生産は「日置市」加工、販売は「鹿児島銀行」「野村證券グループ」が担当する。
- ・28年には薬剤メーカー「エイザイ」と協定、成分調査などをして、29年度「日置市産」オリーブの販売を計画されている。

林業関係では

- ・日置市の山林は約58%。スギ・ヒノキの人工林の大半が利用に適した樹齢である。
- ・個人所有者から受託している、鹿児島森林組合と、県の4機関および日置市が日置市森林づくり推進協定を結び運営協議会を開催しながら、効率的な森林整備に取り組み、情報の共有を進めている。

少子高齢化対策

- ・少子高齢化対策は、この自治体も最大の課題である。

定住化対策

- ・定住化対策も本町同様に、住宅リフォーム、空き家改修、定住促進に補助金制度を設けている。

雇用対策

- ・雇用対策は合併後、立地企業12社に補助金を交付。地元採用は30社で113人と過半数となった。

6次産業・オリーブ農園



「全国農業図書
「みんなで作ろう!」
新しい農業委員会」より転載



質問事項	ページ
山口久男 10 大滝幼稚園を廃園して活性化になるのか 本町公共交通の充実見直しは	10
富永 勉 10 光とアートイベントの事業効果は	10
川岸真喜 11 新教育長の教育方針は 認定子ども園、地元説明会の結果は 大滝地区の活性化取り組みの進捗は	11
尾谷忠之 11 第5次総合・実施計画の評価は	11
松居 亘 12 国道306号の通年通行可能対策は 6次産業化の支援は	12
竹内 薫 12 介護事業計画の内容は 四津屋トンネルの安全性は	12
北川久二 13 「あけぼのパーク」に太陽光発電を 橋梁の長寿命化修繕計画は ○公共施設等総合管理計画の策定は	13
川添武史 13 除雪体制と絵馬通りの整備は 絵馬通り改修、2期の完成と3期の予定は 自転車通学に保険補助を	13
森 令三 14 自主防災および防衛は	14
木下茂樹 14 健康寿命の延伸施策は 医療費・薬剤費節約、削減の広報活動は 早期発見・早期治療による重症化、 長期化しない対策は	14

(印は、掲載しておりません。)

12月定例議会

町政を問う

10人が一般質問

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

ダム対策特別委員会

10/28

早期完了を 県に要望

芹谷地域振興事務所長と担当者から県事業の進捗状況の説明と地域整備課長から芹谷栗栖振興事業関連の町事業の説明を受け、現地視察をした。

質疑の主なもの

県道多賀醒ヶ井線 道路改良工事は

問 栗栖地先の川幅はかわらないのか

答 対岸の護岸工事をし川幅を確保して道路の拡幅を行う。

問 水谷口から屏風口までは全線改修されるのか、その区間に、護岸が崩れている箇所があるが、対応は

答 水谷口の最初のカーブから工事にかかりたい。護岸の崩壊箇所については現在コンサルに設計を依頼している。



甲頭倉墓地前

問 屏風口までの改良工事の見直しは

答 用地確保、予算措置を含め早い段階で着手したい。

問 県道多賀醒ヶ井線の道路アクションプログラムの34年までの計画である。

答 芹谷地域振興事務所の資料を湖東土木事務所提供し、検討する。



河内地先

用地確保の必要や公団混雑箇所もある。遅れることも想定されるが、計画どおり完成したい。

問 芹川治水対策は

答 芹川のハード面の改修計画は県全体の治水対策での対応となり、湖東土木事務所で徐々に進めている。

答 芹谷地域振興事務所の資料を湖東土木事務所提供し、検討する。

水谷・栗栖の町事業について

問 水谷地先の里道の擁壁工事は

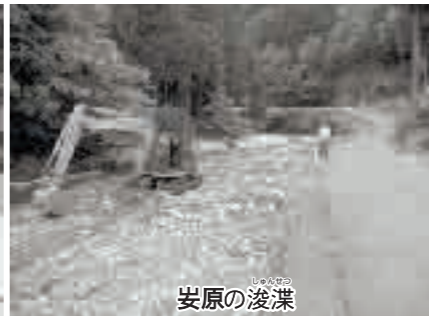
答 里道幅員が90cm程度で、現在石積になっている部分の改修である。費用は、800万円、900万円。

問 多賀町として河川の浚渫を要望している。引き続きやってもらいたい

答 彦根の下流部分は、ほぼ完了している。今後上流部分の浚渫を土木事務所が計画している。



水谷地先



安原の浚渫



栗栖地先

質問 1

大滝幼稚園を廃園して活性化になるのか

—教育次長—

施設の利活用を進める



山口 久男

問 (1)統廃合は
①廃校や保育所の閉園が
少子・過疎化の要因でな
いのか。
②大滝幼稚園が閉園して
も活性化につながるのか。
③適正規模とは何人を示
し、その科学的根拠は。
④幼稚園通園バスの運行
はなぜできないのか。
⑤園と学校との運動会や
各種行事の教育効果、少
人数教育の評価は。
⑥幼稚園児確保の努力は。
⑦住民の意見、意向は反
映し議論されているか。

教育次長(1)

答 ①全国的な少子化や
過疎化、環境・経済の社
会的変化が大きな要因。
②施設の利活用を進める。
③文部科学省資料に基づ
き10〜15人が望ましい。
④十分検討していきたい。

⑤評価はしている。集団
教育の学習活動が大切。
⑥園児の募集をしたが、
29年度は6人である。
⑦問題点を解決し認定こ
ども園設置の声が多く、
意向を反映していく。

本町公共交通の 充実見直しは

問 ①高校生通学支援の
スマホ予約の開始は。
②愛のリタクシーの割引
を高校生や高齢者に。
③高齢者外出支援が社協
に移管されたが要綱は。

副町長
答 ①湖東圏域1市4町
で研究課題としたい。
②現行では困難。
③要綱は、今後検討。

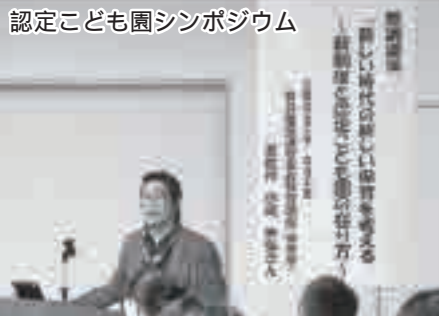
認定子ども園 地元説明会の結果は

教育総務課長
答 大滝地区の8カ字で
認定子ども園の説明会を
開催した。おおむねご理
解いただけた。

大滝地区の活性化 取り組みの進捗は

教育次長
答 大滝里づくりプロジ
ェクト事業を立ち上げて、
大滝地域活性化事業の検
討を進めている。

これまで教育委員会に
おいても、県立大学の協
力で「デザインカレッジ
大滝キャンパス」、「放課
後学びつこタイム事業」、
「英語で学ぼう事業」を
始めている。



認定こども園シンポジウム

問 山中教育長が就任さ
れた。新教育委員会制度
のもとで、教育の充実が
求められる。教育方針は
教育長
答 確かな学力を育む、
豊かな心を育む、健やか
な体を育む、を三本柱に
している。
学力では、課題の発見
と解決に向けた主体的・
対話的に学ぶアクティブ
ラーニングに取り組み。
道徳教育、体験活動、
キャリア教育を充実し、
家庭・地域との連携も重
視する。
英語教育の充実やICT
機器の活用のためにも、
教職員の資質と指導力の
充実を図る。

質問 1

第5次総合・実施計画の評価は

—企画課長—

外部評価委員会を研究・検討

尾谷 忠之



問 行政運営評価の基
準・内部評価は。
実施計画進捗状況の内
部評価は適正か、また町
民への説明責任は、外部
評価が必要では。

企画課長

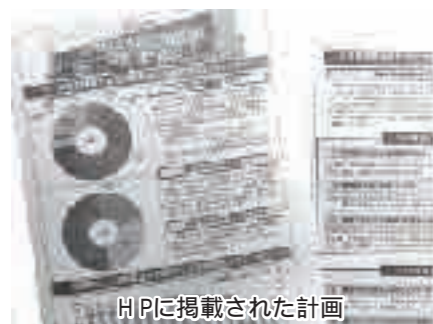
答 政策評価や実績評
価、政策評価や事業評価
を数値や成果指標として
内部評価している。
今後は外部委員会の意
見を反映した評価結果の
公表を研究したい。

項目ごとに4段階で
評価、点数による数値化
で表示ホームページで公
表している。広報等で資
料公表も工夫したい。
毎年度の内部評価と共
に外部委員の評価を受け
たい。
理想的な体制である。
今後、研究、検討した
い。

問 公共施設等管理計
画策定における施設の集
約・廃止・複合は。
財政運営における政策
評価システムとは。

総務課長

答 施設ごとの利用者
数やコスト面、住民サー
ビスを前提に慎重に個別
計画を立てる。
財政面における評価は
実施計画の事業の実績、
成果を所管課に分析させ
その成果を確認、優先順
位つけて予算要求するよ
う指示している。



HPに掲載された計画

質問 1

光とアートイベントの事業効果は

—産業環境課長—

現在、調査中で後に総括を

富永 勉

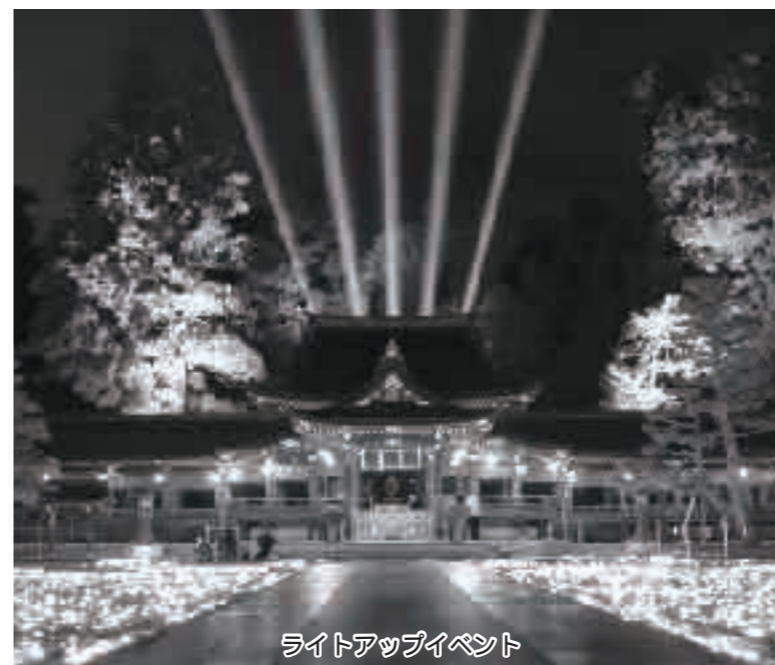


問 町内では、神社3
カ所、寺院1カ所でライ
トアップされたが来客数
は。
人口減少歯止め、経済
活性化、雇用拡大に、ど
のようにつなげるのか。

産業環境課長

答 11月末に終了した
ばかりで現在、聞き取り
調査や算出方法について
検討中。
調査終了後、ライトア

ップ部会を開き総括を行
う予定である。
この事業はライトアッ
プだけでなく、彦根市と
の連携による文化イベン
ト、町独自の絵馬通り活
性化イベント、人材育成
事業も同時に行っている。
町民あげての手作りイ
ベントとして団体、個店
が連携し継続、定着させ
て経済効果はもとより雇
用拡大、人口減少歯止め
へとつなげていく。



ライトアップイベント

質問 1

新教育長の教育方針は

—教育長—

確かな学力、豊かな心を育成

川岸 真喜



質問1

国道306号の通年通行可能対策は

—町長—

県境トンネルを国へ要望



松居 巨



通年通行可能に

問 306号整備の町長の考えは。

答 新トンネル建設は、三重県側市町の認識は、

町長 物流や観光、災害対応に重要な道路ながら土砂崩れが頻発し新たなトンネルが必要と考える。県管理道路で難しいが、滋賀県、三重県、国へ強く要望していく。同盟会は6市2町で構成しているが、三重県側は東海環状自動車道、第2名神などを優先的に重点整備。今後の協力体制に期待する。

質問2

6次産業化の支援は

問 国及び県の指導は。

答 地域再生計画の認定は、農業6次産業化関連事業の内容は、東びわこ農業協同組合との連携は、

「地域農業戦略指針に基づき話し合い集落」はあるか、今後の予定は、**産業環境課長**

答 法人や認定農家、市町担当者に対し事業説明会、先進地視察、研修会、情報交換会を実施。8月、林業に関する地域再生計画は認定、交付決定を受けた。現在、取組みはないが、組織の一元化や6次産業化、ブランド化等検討。特産品の加工開発、販路開拓等、競合することなく情報の共有化と連携。霜ヶ原集落で実施。特定農業団体6営農組合の法人化も順次実施。

質問1

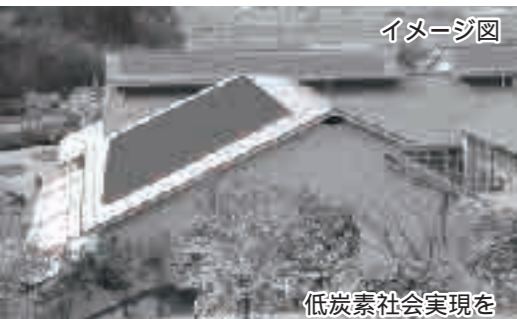
「あけぼのパーク」に太陽光発電を

—町長—

国の補助事業を活用しながら検討する



北川 久二



イメージ図

低炭素社会実現を

問 以前にも「あけぼのパーク多賀」電気料金軽減に太陽光発電導入の必要性を伺った。第5次総合計画の実施計画に「公施設へ太陽光発電を設置する」と明記しているが「あけぼのパーク」も含まれるのか。

町長 施設への設置について、町、電力会社ともメリットがなく、協議を断念した。災害時の電力確保が目的で、庁舎やふれあいの郷は、100%国の補助事業を活用したが、料金軽減目的では、難しい。国の補助事業を活用しながら、検討したい。

質問2

橋梁の長寿命化修繕計画は

問 国の補助を得ながら橋梁の長寿命化修繕計画を策定され、近接目視検査が実施された。

答 第5次総合計画の実施計画では、橋梁の修繕計画がある。検査の結果レベル3・4の危険度は、143箇所のうち修繕が必要な橋梁は、

地域整備課長

答 レベル3は、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。レベル4は、構造物の機能に支障が生じている、緊急に措置を講ずべき状態である。

143箇所のうち、レベル1が46橋、レベル2が89橋、レベル3が8橋、レベル4がゼロ。レベル3の8橋の修繕計画をしている。

質問1

介護事業計画の内容は

—福祉保健課長—

重点事項を掲げ取組んでいる



竹内 薫

問 28年度から始まった新しい事業内容は、困りごと支援事業の内容は。

答 “おたがいさま”の地域づくりとは、支援する団体の育成は、どのような団体か。解決できる協力者に依頼とあるが、協力者とは、高齢者の居場所づくりとあるが、どこか。各集落の福祉会の育成とは、どのような育成か。

福祉保健課長

答 高齢者世帯等で、生活上の困りごと全般。地域の支え合いの仕組みづくりにつながる事業。民生児童委員会・自治会・老人会など、支援いただくあらゆる団体。地域に暮らす住民ボランティアを想定している。各集落の集会所その他の場所も考えられる。情報交換や課題を共有するためのワークショップ、研修会の開催など。

質問2

四津屋トンネルの安全性は

問 四津屋トンネルの安全確保について、以前から何度となく質問したが、一向に対処されない。

地域整備課長

答 スマートICとの関連を考慮する必要が生じ、計画決定までに時間を要する必要がある。そのため、やり直しが生じない範囲での事業を予定している。今年度事業としてトンネル内照明のLED化を考えている。



トンネルの安全確保を

質問1

第5次総合計画 生活基盤の充実 除雪体制と絵馬通りの整備は

—地域整備課長—

職員直営、工業会 合わせて29班

川添 武史



問 本町の町道も小森池線、久徳中川原線、今年開通した栗栖、二本木西ノ脇線の開通。また多賀区近郊の住宅団地の開発に伴う移管道路など除雪対象道路は増加の一方である。

答 今後どの様な体制が必要か検討されているのか。

地域整備課長

答 本年は、町職員39人、2班と工業会13社、27班集体で実施したい。今後は、集落除雪など住民の協力を頂くなど、除雪方法を考える。

絵馬通り改修、2期の完成と3期の予定は

地域整備課長

答 現在は、昼夜間通行止めにして施工している。多賀大社前でもあり年内にはどうしても完成させたい。引き続きかぎ楼までやりたい。

質問2

自転車通学に保険補助を

問 交通インフラの悪い、本町の中学生、高校生の多くは自転車通学を余儀なくされている。

答 近年子ども自転車の事故をめぐり、賠償金が高額化している。神戸の事故では9500万円である。事故防止も重要であるが保険に補助を。

教育長

答 多賀町の中学生は賠償金1億円の保険に加入している。高校生も学校で入っているところもある。



絵馬通り

みなさまに「伝わる広報」を

広報常任委員会

広報常任委員会の活動

1. 広報誌発行

年4回の議会定例会が終了すると、編集や校正のため、5回ほどの委員会を開催し広報誌を作成し、5月・8月・10月・2月に議会広報誌「たが こんにちには議会です」を発行しています。

2. 研修

広報常任委員は、原則2カ年同じメンバーで編集作業を行います。その最初の年に全国町村議会広報研修会に参加します。そこで、実際に発行した各町の広報誌の良い点や改善点の指摘があります。いわゆる、「ダメ出し」をされるわけです。今年度も、昨年7月に「クリニック研修」を受けてきました。そのほか、県の主催による研修があり、毎年、参加しています。今月(2月)13日に行われる研修会に参加して、より住民のみなさまに読んでいただける広報誌を編集していきたいと思っています。みなさまからの、ご意見やご希望もお待ちしております。



気軽に懇談しませんか？

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。

お気軽にご連絡ください。

議会事務局 ☎ 48-8126
(有線) 2-2011



質問1

自主防災および防衛は

—総務課長—

避難勧告発令判断支援資料を作成中

森 令三



南北流の合流地点(川相地先)

問 本町は、毎年、地区別に防災訓練を実施され、防災意識の重要性が浸透している。同時に自主防災・防衛が重要と考える。川相地区は、過去何度も水害を経験しており、特に自主防災・防衛が必要である。

答 本町では、町地域防災計画の基本方針として避難体制を整備し、災害から住民を守る取組を進めている。まず、的確に避難勧告等発令に必要な避難勧告等判断・伝達マニュアルを定め、避難勧告等の発令判断支援資料の作成を進め、連絡方法は、有線放送、広報車、ホームページ、登録型メール配信にて行う。

質問1

健康寿命の延伸施策は

—福祉保健課長—

疾病予防と健康増進、慢性病化の阻止

木下 茂樹



問 健康寿命の延伸は家計や町の財政負担の軽減につながる。尊厳ある人生のため慢性病の重症化予防が必要だが、新たな施策は。

答 本町の健康寿命は、国の平均値より高いが、県より若干低い。平均寿命と健康寿命の差が不健康期間を意味する。特定健診の受診率を高め、健康寿命を延伸する事が、医療費増加抑制のためにも必要である。生活習慣の改善で、糖尿病・高血圧など慢性病に至らないよう推進している。



検診で早期発見を

たが いいとこ再発見!!

第12回

佐目

360度パノラマの
高室山へ

山下 吟三さん

Q 高室山登山道整備の経緯は。

A 登山者から登山道を聞かれた事から、21年に数人での現状視察を始めました。

22年から25年まで、自然災害等により、登山道が荒廃したので、チェーンソーやナタクワ、草刈機などを持参し、ボランティアで整備を始めました。



登山道整備



山頂で撮影



登山カード箱設置



山頂よりのパノラマ

Q 高室山の魅力は。

A 標高は818mと決して高くはありませんが、山頂では樹木や笹などはなく、360度のパノラマが眼下に広がります。萱原から檜崎、猿木から霊仙まで、多賀町内が一望できます。

また、11月には、久保町長も登山道整備に参加頂き、山頂でおにぎりをおいしくいただきました。他にも登山者があり、記念写真も撮りました。

春夏の新緑や納涼、秋冬の紅葉や新雪など、四季を味わって頂けます。登山の出発点は、国道306号佐目バス停・佐目トンネル公園前駐車場・南後谷の3カ所です。出発点から約2時間位で気軽に登れるため、山ガールも多いです。

琵琶湖や湖西・比叡山や、北アルプスの御岳を望むこともでき、このパノラマは、近隣の山々では味わう事はできません。

脇ヶ畑の杉地区から自動車まで近くまで行く事もできます。登山カードの提出などルールを守り、登山を楽しんで頂ければ幸いです。

議会を傍聴してみませんか？ 3月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
3月 8日	8日(水) 9:30~ 議案審議
3月 9日	9日(木) 9:30~ 一般質問
3月 27日 (20日間)	27日(月) 13:30~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

たが いいとこ再発見!!

あなたの住んでおられる地域の自慢をお聞かせください。

原稿募集!!

地域の魅力を再発見できるコーナーをめざし、取材や写真撮影も伺います。議会事務局までご連絡ください。

【応募資格】多賀町にお住まいの人
【応募方法】200字程度
【募集期間】平成29年 4月7日(金)

飯盛木と青龍山

編集後記

町長・議会議員選挙から約1年が経過します。近年に無い激戦の中から選出された、町長・議会議員には一層の活躍が期待されるところです。活動内容等、皆様の一層のチェックと開かれた

議会を目指した、議会改革に取り組んでいるところです。多賀町の「議会広報」は全国研修にて、一定の評価をいただきました。一層見やすい・読みやすい広報誌にして参ります。ご意見をお寄せ下さい。木下 茂樹 記